

新入生のためのガイド：履修登録と学び方

本ガイドは、福山大学情報工学科の新入生および入学予定者を主な対象として作成しました。大学での学びや履修登録の基本的な考え方について、情報工学科での具体例を交えながら説明しています。本資料は概要を示すものであり、進級要件・卒業要件・科目名など具体的なことは、必ず自分の学科の学生便覧・履修のてびき・シラバスで確認してください。

能動的な学びへの転換

大学では学生が自ら学び、研究することが期待される。与えられた問題を解くだけでなく、問題そのものを見つける力を獲得する。自ら問題を発見し、答えを追求することで課題解決力を身につけることが大学教育の目的である。

単位制度と履修登録

《なぜ時間割を自分で作るのか》

大学では各自が興味や進路に応じて学ぶ科目を選ぶ。そのため時間割も各自で作る。

《単位とは何か》

大学では科目ごとに単位数、受講できる最低の年次（配当年次：例えば「2年次担当」の科目は1年生では履修できない）が設定されている。科目に合格すると単位が付与される。各科目の単位数や配当年次は学生便覧またはシラバス（授業計画）で確認すること。シラバスは公開されている。

《共通教育科目と専門教育科目》

大学の科目は大きく共通教育科目と専門教育科目に分けられる。

共通教育科目とは、所属する学部・学科に関わらず幅広い教養を身につけるための科目である（例：外国語、自然と科学、社会構造と生活、歴史と文化などについての科目）。

専門教育科目とは、自分の学部・学科の専門分野を学ぶための科目である（例：情報工学科であればAI、メディア、セキュリティ、プログラミングについての科目）。

《履修登録の基本》

科目は必修科目と選択科目に分けられる。

必修科目とは、必ず履修しなければならない科目である。選択科目とは、自分で選んで履修する科目である。

履修登録とは、自分が受講する科目を大学のシステムに登録する手続きである。この登録を期間内（毎年4月に案内がある）に完了させる必要がある。登録した科目のみが成績評価の対象となる。修正のチャンスはあるが、修正も期限までに行う必要がある。

【重要】履修登録に関する注意

履修登録をしていない科目は、授業に出席し、試験を受け、レポートを提出しても、単位は付与されない。入学後すぐに学生便覧を確認し、期限内に必ず履修登録を完了させることが大切である。

【重要】能力度別クラスの履修

英語などの一部の科目では、能力度別のクラス分けが行われる。この場合、科目名は同じだが、クラスが異なる。入学直後に実施される能力度別テストの結果に基づいて、各自が履修すべきクラスが指定される。必ず指定されたクラスの科目を履修すること。

《履修登録チェックリスト》

履修登録を確実に完了させるため、以下の項目を順に確認すること。

履修登録中

- すべての必修科目を登録した
- 必要な選択科目を登録した
- 時間割に重複がないことを確認した
- 登録した科目数と単位数を確認した
- 科目名が同じでも、履修登録できない科目について、登録していないことを確認した(入学年度の学生便覧記載の科目コードの科目のみ履修可能)
- 履修登録を確定した(仮登録のままになっていないか確認)
- 登録内容についてクラス担任(学生生活や履修について相談できる指導教員)の確認を受けた

《学生便覧と履修のてびきで確認すべき事項》

大学が配布する学生便覧と履修のてびきには、各学科の履修に関する規則が記載されている。以下の項目を各自で確認すること。

1. 自分の学科の進級要件と卒業要件(共通教育科目、専門教育科目、単位数がそれぞれ何単位必要か)
2. 共通教育科目、専門教育科目の科目名・分野・単位数・配当年次
3. 必修科目のリスト(どの科目を必ず履修しなければならないか)

その他、履修単位数の上限(CAP制)、不合格となった科目の再履修、追試験・再試験制度などの大切な説明も掲載されている。

授業形態と教材

授業形態は講義(教員が説明する形式)、演習(問題を解く形式)、ゼミ(少人数で議論する形式)など多様である。指導を担当するのはその分野の専門家である研究者である。

同じ科目名であっても担当教員によって使用する教材や授業の進め方が異なる。教材は教科書の場合もあれば、オンラインで配布される資料などの場合もある。

また、授業のない時限が発生する。例えば、1時限と3時限に授業を履修し、2時限に授業を履修しない場合、2時限は空きコマ(授業のない時間)となる。

大学では、授業ごとに教室を移動する。他学部や異なる学年の学生と一緒に受講することもある。

時間割のイメージ（実際の時間割は違います）

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
月曜日	(空きコマ)	デザインリサーチ 演習	日本語表現法	教養ゼミ	みらい工学 プロジェクト
火曜日	(空きコマ)	体育	(空きコマ)	英語I	(空きコマ)
水曜日	みらいを拓くデジ タルリテラシー	インターネット・ リテラシ入門	情報工学入門	情報処理基礎	(空きコマ)
木曜日	(空きコマ)	初修外国語	Pythonプログラ ミングI	Pythonプログラ ミングI	(空きコマ)
金曜日	市民生活と法	コンピューター サイエンス	(空きコマ)	(空きコマ)	(空きコマ)

時間割のイメージ（実際の時間割はこれとは違います）

評価方法

暗記した知識や所定の問題を解くことができるかだけでなく、内容を理解しているか、自分なりに考察できるかも求められることが多い。各科目の評価方法は、シラバス（授業計画）に記載されている。シラバスには、レポート、試験、その他の評価項目とそれぞれの配点が明示されている。

授業の課題

授業の課題の形式と回数は科目によって異なる。レポート、演習問題、実験レポート、プレゼンテーションなど様々である。

すべての課題を提出する必要がある。課題提出のスケジュールを管理し、計画的に取り組むこと。提出したかどうかは自分で記録・確認すること。

出欠席の管理

すべての授業に出席することは当然であり、自己管理が必要である。病気等のやむを得ない事情での欠席は、欠席届を提出する必要がある。

時間の使い方

授業の時間割には空きコマ（授業のない時間。例えば1時限と3時限は授業があるが、2時限は空きコマであるなど）が発生する。その時間は図書館で勉強する、友人と過ごすなど自由に使うことができる。

夏休みと春休みはおおよそ1か月半から2か月である。詳しくは学年暦で確認できる。インターンシップ（企業での就業体験）や資格取得の勉強など、夏休み・春休みを活用した活動が可能である。

生活面の自由と責任

大学生活では一人暮らし、アルバイト、外食など自由度が高い。健康管理、金銭管理、時間管理などで自由と責任が大きい。

学業、健康、経済面などで不安や疑問が生じた場合は、クラス担任や大学の窓口に相談すること。早めに相談することが重要である。

授業ごとに受講者が変わる。大学には広い地域から多様な学生が集まる。

卒業研究

4年生では卒業研究に取り組む。卒業研究は1年間を要する長期的な課題である。

研究室配属

3年生になると自分で研究室（特定の分野を専門とする教員の研究室：各教員が専門分野の研究を行う場所）を選ぶ。研究室では、指導教員の助言を受けながら自分で研究テーマを設定し、研究を進める。自分で考え、行動する姿勢が必要である。

大学4年間の学びの流れ



まとめ

大学では「受動的な学び」から「能動的な学び」への転換が求められる。自由度が増す一方で、自己管理能力と目的意識が必要である。履修登録は入学後すぐに必要となるため、単位制度の基本を理解しておく必要がある。